

江東きつずクラブ

平成27年度は区内小学校33校で実施

江東きつずクラブは、放課後や夏休み等に児童が安全で安心して過ごせる居場所・生活の場です。

平成22年度からスタートし、毎年実施校を増やしており、平成27年度には区内33校の小学校で実施します。

江東きつずクラブには2種類の登録があります。A登録(放課後子ども教室機能)は実施校に在籍する1~6年生を対象として、誰でも登録でき、放課後等の遊びの場・学びの場を提供します。B登録(学童クラブ機能)は実施校に在籍し、保護者が就労している世帯等の1~3年生を対象として、家庭に代わる生活の場を提供します。

★平成27年度新規開設校
豊洲西小(平成27年度新規開設校)・辰巳小・第二辰巳小・浅間立川小・第一大島小・第四砂町小・第七砂町小の7校で新たに江東きつずクラブを開設しますが、そのうち第三辰巳小・浅間立川小の2校は児童の収容対策上、当面はA登録のみを実施します。第二辰巳小のB登録は近隣の辰巳学童クラブで、浅間立川小のB登録は近隣の浅間立川学童クラブで対応します。



★平成27年度からの変更点
平成27年度より、実施校の特別支援学級に在籍する4年生以上の児童も、B登録への入会が可能となります。

★今後の展開について
江東きつずクラブは平成27年度より、区内小学校45校中33校での実施となりますが、区では平成29年度までに区内全小学校での実施を目指し、計画を前倒して開設に取り組んでいます。放課後等に児童が安全で安心して過ごせる居場所・生活の場を提供できるように努めています。



図 放課後支援課支援係
TEL (3647) 9308
みんな一緒に楽しく過ごします!

図書館のこども向け団体利用サービス

区立図書館では、こどもたちの本との出会いや読書への関心を支える資料やサービスを提供しています。

その中で、こども向けの団体利用サービスについて紹介します。

5人以上のグループで団体貸出登録ができます。

図書館の書架にある資料を自由に選んでいただき、1人につき図書・雑誌は5冊、CD・カセットは3点を1か月間貸出します。

区内の子育て支援施設、小学校に本を貸出します。

乳児や幼児に人気の絵本や長く読み継がれているもの、季節をテーマにした絵本などをそれぞれ50冊ずつセットにした「絵本セット」と、小学生の調べ学習用に、戦争と平和、宮澤賢治の作品、移動教室で行く日光に関する資料など、テーマごとに資料を集めた「調べ学習セット」を貸出します。

配本や回収は図書館で行います。
図 江東図書館



図書館から絵本セットの配達です!

おはなし会

各図書館では、読み聞かせボランティアによる赤ちゃんやこども向けの楽しいおはなし会を行っています。

また、区内の子育て支援施設、小学校などでも、ご要望に応じて、読み聞かせボランティアが、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどを行います。

図 深川図書館
読み聞かせボランティアによる講習会

読み聞かせボランティアが各施設に伺って、施設の職員や保護者などを対象に、こどもへの読み聞かせ方や本を選ぶポイント等についての講習会を行います。

図 深川図書館
*詳細については、江東区立図書館のホームページをご覧ください。
http://www.koto-lib.tokyo.jp/~児童サービス

江東	TEL (3640) 3151
深川	TEL (3641) 0062
白河	TEL (3643) 7439
東陽	TEL (3644) 6121
豊洲	TEL (3533) 5931
東雲	TEL (3529) 1141
古石場	TEL (5245) 3101
城東	TEL (3637) 2751
亀戸	TEL (3636) 6061
砂町	TEL (3640) 4646
東大島	TEL (3681) 4646

幼稚園の取り組み

幼児期は、人格の基礎づくりをするうえでとても大切な時期です。区立幼稚園では、遊びを通して、幼児の心と体を育てる取り組みを行っています。

図 深川図書館
研究主題
「わくわく遊ぶこどもを育てる」こどもの姿から遊びの魅力を読み取ることで生まれる援助の工夫

東砂幼稚園では、幼児の遊びを充実させるため、先生たちが、幼児の遊びの姿だけでなく、「わくわくしているかな」、「どんな思いで遊んでいるのかな」など、幼児の心の動きを感じ取りながら、遊びが充実するように工夫しました。

この結果、「いいこと考えた」などと、幼児同士でも、アイデアを出し合って遊ぶ姿が見られるようになりました。

体験を通して主体的に遊ぶことで、自分で考え、課題を解決していく力が育っています。



図 指導室
TEL (3647) 9179
園庭での遊びの様子

教育委員会 だより

教育委員会の構成、活動、会議の内容などについて、ご紹介します

教育委員会の構成

委員長 宇佐美 衛
委員 八島 安男
委員 松江 恒治
委員長職務代理者 進藤 孝

教育委員会の主な議題
平成26年4月から9月までの間に、定例会を6回、臨時会を4回開会しました。主な議題は次のとおりです。

◆ 議事案件 (16件)
平成25年度江東区一般会計歳入歳出決算
江東区立学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則

◆ 報告案件 (39件)
(仮称)第二有明小・中学校の整備について
豊洲図書館の整備について

◆ 協議案件 (10件)
平成26年度小学校教科用図書採択について
いじめ防止基本方針の策定等について

今後の教育委員会開会予定
※平成27年1月11日現在
第1回定例会 1月22日(木) 10時30分
第2回定例会 2月24日(火) 10時
第3回定例会 3月27日(金) 10時



図 庶務課庶務係
TEL (3647) 9170
研究発表会 公開保育の様子



図 庶務課庶務係
TEL (3647) 9170
江東シーサイドマラソン大会 開会式

全小・中学校で約250名 学びスタンダード 強化講師 活躍中!

今年度より、区立の小・中学校では、学びスタンダードの確実な定着と学力のさらなる向上を目指して、全小・中学校に「学びスタンダード強化講師」を派遣しています。このような講師の派遣制度を実施しているのは、二十三区では江東区だけです。

「学びスタンダード強化講師」とは?



よく分かる授業、こどもたちに確かな力が付く指導をしていくためには、これまでのように教員が一人で一クラスを教えるより、指導者を増やした少人数指導等を行う方がより効果的です。

そこで本区では、小学校には学級数に応じて週60時間〜120時間、中学校には週30時間講師を派遣しています。小学校は国語・算数・体育、中学校は国語・数学・英語という学びスタンダードに関わりのある教科で、学校の計画に基づいて学年や教科のバランスを決めて活用しています。

南砂中学校では…



1学級を3つのコースで！ 分かる授業で学力アップ!

1学級を3つのコースに分ける等、全学年の国語・数学・英語で少人数指導に力をかけています。
写真は、英語の授業で講師が生徒の質問に寄り添い指導をしている様子です。ていねいな指導の充実により学力調査の結果もよくなってきています。

深川第八中学校では…



少人数指導が充実！ 生徒の意欲、集中力も向上!

全学年の数学と英語の授業で、少人数指導の充実力をかけています。生徒が質問しやすく、授業はとてもしゃべりたがる雰囲気が進められています。少人数で行う授業では、生徒の理解に合わせて、きめ細かい指導ができています。

第五大島小学校では…



学年で講師を固定して、 一人一人に応じた指導を!

担任と講師が協力して、児童の課題や能力、興味・関心に応じた指導の充実を図っています。
低・中・高学年で講師を固定しているため、児童が講師に親しみをもちやすく、講師も児童一人一人に応じた指導ができています。

東砂小学校では…



講師の専門性を生かした、 質の高い授業を実施!

全学年で、講師の専門性を生かした質の高い楽しい授業を実現しています。体育を専門とする講師は、全学年で体力向上と運動好きな子の育成に、算数の少人数指導の経験が豊富な講師には、全学年の算数で個に応じた指導に尽力してもらっています。

図 学校支援課 学校支援係
TEL (3047) 93007

★英語スタンダードの定着に向けては、英語でのコミュニケーション能力を高めるために、さらに外国人講師も活用しています。特に中学校には、英国の特別な資格をもった優秀な講師を配置しています。



講師の声

休み時間に「先生、この問題教えて!」と質問に来たり、「100点取ったよ!」と報告しに来たりしてくれると、講師としてとてもうれしいです。



中学生の声

先生が、いつもすぐそばにいてくれるので、質問がしやすいし、ていねいに教えてくれるので、授業がよく分かります。



小学生の声

少人数の授業だと、発言する回数も多くなるし、先生の話もよく聞いています。今年になって、算数が好きになりました。

★その他、すべての小・中学校で、「学びスタンダード強化講師」を工夫して活用しています。学校公開等で、各学校での講師の活用の様子をご覧ください。

保護者の方からも「外国の方々と触れ合うことにより、日本以外の国があることを学び、世界地図に興味をもつようになった。また、家に帰ってからもナマステと覚えた言葉で挨拶していました。」という感想が寄せられました。



留学生と一緒にクイズ遊び

子どもたちは、外国の方々と文化に触れ、言葉や習慣などを知ることにより、親しみの気持ちやわき、行ってみようという思いが、この声も聞かれます。

子どもたちは、外国の方々と文化に触れ、言葉や習慣などを知ることにより、親しみの気持ちやわき、行ってみようという思いが、この声も聞かれます。

インターナショナルデー ひばり幼稚園



これらの防災について学んだことは、文化祭で報告しました。また、23年度より行っている東日本大震災の被災地の中学校との交流も続けていきます。



三角布を使った応急手当の実習

子どもたちは、外国の方々と文化に触れ、言葉や習慣などを知ることにより、親しみの気持ちやわき、行ってみようという思いが、この声も聞かれます。

図 学校支援課 学校支援係
TEL (3047) 9176

大会当日は、例年より多くの保護者の皆さんに会場に来ていただき、選手に熱い声援をいただきました。ありがとうございました。

選手達はいつも以上の力泳を見せ、その結果、男子200mメドレーリレー・男子200m個人メドレー・男子200m自由形で大会新記録を出すことができました。
また、同水泳場指定管理者の株式会社オーエンスから協賛をいただき、同じく指定管理者のセントラルスポーツ株式会社からは、同社所属の水泳の元オリンピック選手伊藤華英さんをお迎えして、選手たちにデモンストラクションの模範泳法とポイントレッスンをしていただきました。目の前で元オリンピック選手の水泳を見てアドバイスを受けたことは、選手達にとって今後の大きな励みになりました。

「やってあげば まさかの時に動ける」
第二電戸中学校
第二電戸中学校生徒会は、災害が起こった時、自分の命を守り、地域の復興や学校の復旧の役に立ちたいと考え「防災」への取り組みを行っています。
この取り組みは、3年前から続いているもので、今年は、夏休みに「本所防災館」へ部活動の生徒と共に訪問し、防災体験ツアーに参加しました。また、夢の島で行われた中学生体験プログラムにも参加しました。
9月には日本赤十字社の方に二電戸に来ていただきました。生徒会が募集した40名の生徒が、非常食の炊き出しの実習や三角巾を使った応急手当を体験しました。

●中学校連合水泳大会●
9月2日(火)、東京辰巳国際水泳場で区内23校の選抜約250名の選手による中学校連合水泳大会を開催しました。
国際大会で頻りに使用され、日本や世界のトップスイマーが泳ぐ東京辰巳国際水泳場での開催は、区内の中学生に使用して欲しいという古澤公英館長のご好意により実現することができました。